

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市南区原山台4丁計画 新	階数	地上15F
建設地	大阪府堺市南区原山台4丁6番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	396 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 0.0	評価の実施日	2023年1月31日
敷地面積	2,455 m ²	作成者	長谷工CO.小嶋
建築面積	824 m ²	確認日	2023年2月1
延床面積	7,786 m ²	確認者	長谷工CO.仮屋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、環境と負荷軽減に配慮し快適な室内環境を整えるよう努めた。	その他
Q1 室内環境	ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用することで、空気質環境の向上を図った。	Q3 室外環境(敷地内)
Q2 サービス性能	機能性に配慮し、各住戸に1Gbit以上のブロードバンドを配置してインターネット設備の快適性に配慮した。	敷地内に中高木を多数植栽するなどにより敷地内の熱環境の向上を図り沿道にも緑地を設けることで前面の公園の緑地を意識し建物利用者及び周辺住民が緑に親しめる空間となるよう配慮した。
LR1 エネルギー	日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材、エコマーク商品を積極的に採用し、資材の使用量削減に努めた。室内環境だけでなく広く環境に影響を及ぼす可能性のある化学物質を含まない材料を使用することで、汚染物質回避に努めた。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化に配慮した計画とした。駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市南区原山台4丁計画新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区原山台4丁6番1	1.4	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 7,785.60 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●●●●●
エネルギー削減	5	●●●●●
建物の断熱性	4	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.0	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	3	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0
建物の断熱性	評価項目	スコア	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.0
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	○	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	